

## 1 本時の実践について

## (1) 本時の目標

・流れる水には、土地を侵食したり、石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあることを理解している。(知識・技能)

## (2) ICT活用場面について

【使用するアプリ】

「カメラ機能」

「スクールタクト」

【問題】流れる水には、どのようなはたらきがあるのだろうか。

## 実験

① 土の山をつかって、水を流し流れる水の様子を調べる。

水が流れた後の土の様子をタブレットで撮影し記録する。

水が流れている様子は、全員が直接自分の目で見る。  
→動画の撮影はタブレットを固定するか教師が行う。



1人1台タブレットを使い、自分の気付いた部分について、写真を撮り、記録しておく。

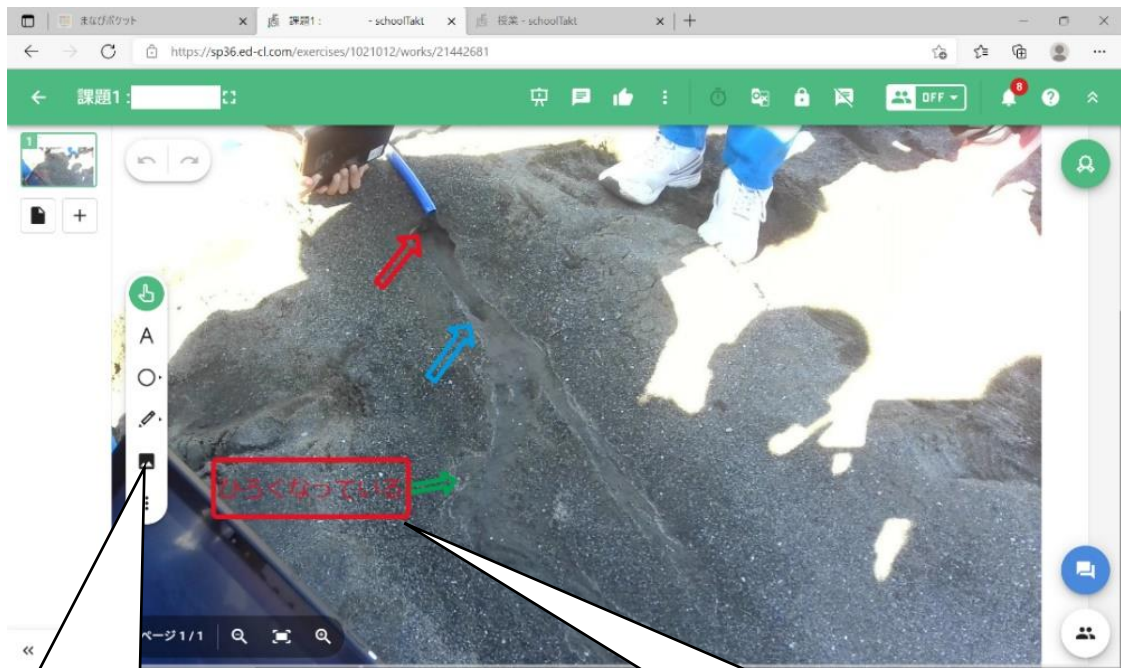
児童一人一人の気づきを記録しておくことができる。

例) ・水の流れ始めから終わりまでどんな形になったか分かるように、真上から全体を撮影する児童。

・土がけずれている様子が分かるように、横から撮影する児童。

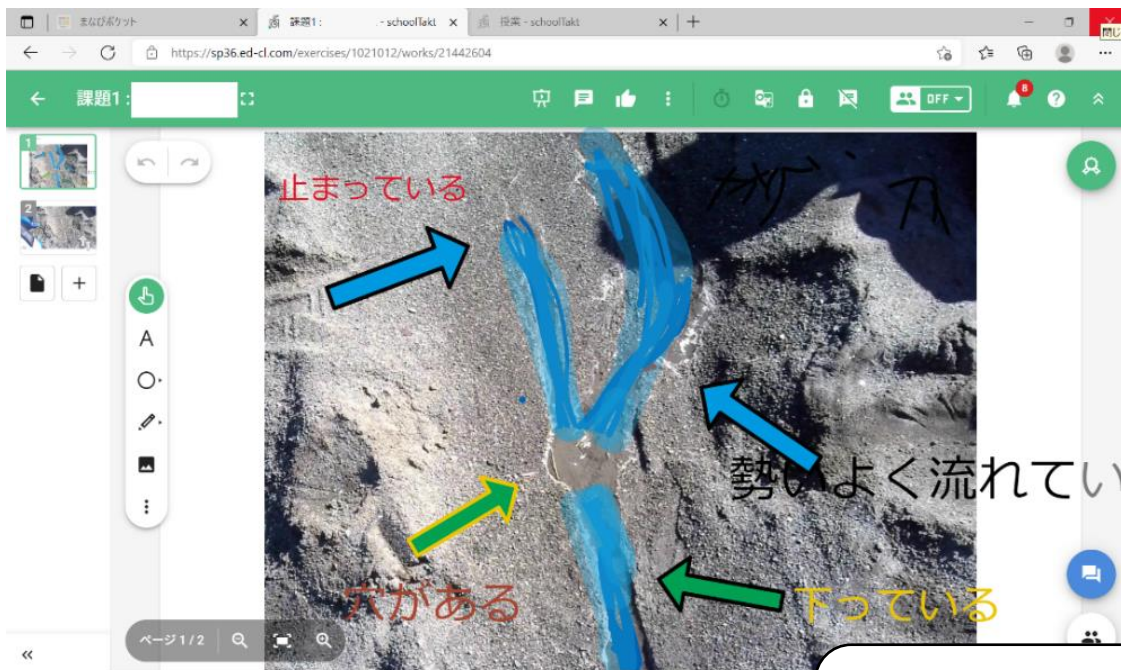
結果

② スクールタクトを使って、撮影した写真に気付いたことを書き込み、自分の考えをもつ。



タブレットで撮影した写真を貼り付けることができる。

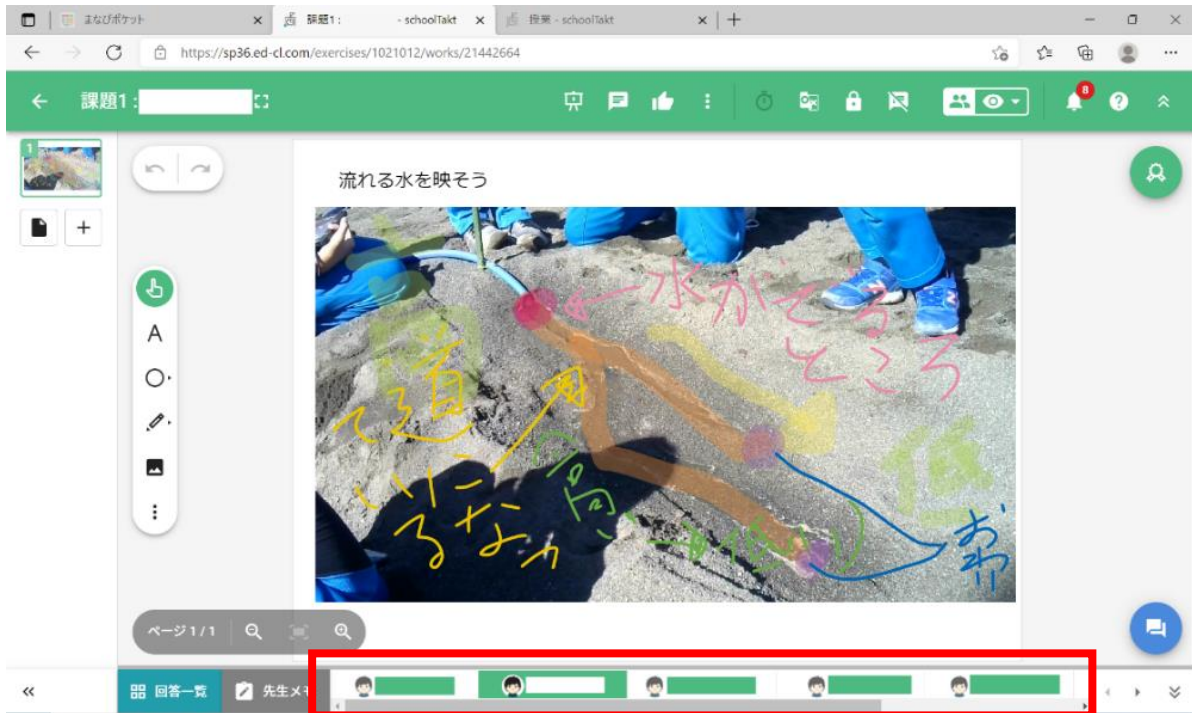
線や図形、文字を直接書き込むことができる。



児童の進捗状況を、教員が一覧で確認することができる。

## 考察

③ スクールタクトの共同閲覧モードを利用して、互いの考えを共有する。



選択した児童のスライドが表示される。

→児童が自分のタブレットで友達の課題を見ることができる。

→教室のモニターに映すよりも細かな部分も共有することができる。

④ 児童の言葉から流れる水のはたらきについてまとめていく。

【まとめ】 流れる水には①けずる（しん食）、②運ぶ（運ばん）、積もらせる（たい積）の3つのはたらきがある。

## 2 成果 (○) と課題 (●)

○一人一台タブレットを使って記録をとることで、児童一人一人が自分の気付いた部分を、自分で決めた大きさ、距離、角度で写真を撮影し残しておくことができた。

○撮影した写真に文字や図形を書き込むことで、自分の考えを他の児童により詳細に説明することができた。

○児童がどんなところに気付き、どんな考えをもったのか、教師が見取り、評価に生かすことができた。

●撮影・書き込みをした写真を、家庭で学習するときでも見るできるようにタブレットの家庭への持ち帰りや写真の印刷など、タブレット使用の環境整備が課題である。

(小鹿野町立三田川小学校 北原直)